

安房ゆかりの名画展示へ

館山

27日から
旧富崎小 学校まるごと美術館

安房ゆかりの画家たちの名画を集めた「海とアート」の学校まるごと美術館」（青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会主催、房日新聞社など後援）が27日から5月6日まで、館山市の旧富崎小学校で催される。

掛けている。

ている。

展示されるのは、明治37年に友人らと布良を訪れた青木繁の代表作「海の幸」の複製画や、昭和24年から4年間、現在の安房高校で美術講師を務めた寺崎武男のびょうぶ絵、旧富崎小などで自由画教育を実践した倉田白羊の襖絵など。同会の愛沢伸雄事務局長は「富崎地区は多くの画家を魅了した場所。日本の美術史に影響を与えた画家がこの地域に住んでいたことを知ってほしい」と話している。

会場は平成29年に閉校した富崎小で、校舎の活用を目的に企画。体育館や教室に作品が展示され、海の写真や漁具なども並ぶ。富崎地区の歴史紹介もある。

期間中は、毎日午後1時半から、学校周辺でのウォーキングや殺陣の演舞などのイベントも企画している。入場無料。

近くにある青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅は通常、土日のみ開館しているが、期間中は毎日開館し、関連の展示を行う。

問い合わせは、事務局のNPO法人安房文化遺産フォーラムの池田さん（090-6479-3498）へ。



作品を展示し準備する関係者＝旧富崎小学校で